事務事業ID 499

手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動) いわて農林水産振興協議会に負担金を拠出した。

・大船渡地方協議会(農業振興大会)の活動へ参加

いわて農林水産躍進大会へ参加

平成 21 年度 事務事業マネジメントシート

平成 21 年 4 月 17 日作成

単位

人

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

協議会の主要活動(いわて農林水産躍進大会

√ 人 大船渡地方協議会の活動に参加した市職員

1m 21 + 1 /3 11 Elfm											
	事務事業名	いわて農林水産振興協議	□ 実施計画登載事業			合併建設計画登載事業					
	政策名・・・・・・・・豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目					
政策体系	以來行	牧策名 0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興			尹未别问		会計	款	項	目	事業
	施策名	産地化をめざした農林業の振興 2:0:			□ 単年度のみ						
	基本事業名				▽ 単年度繰返	<u> </u>					
	根拠法令				01	06	01	02	12		
戶層	部課名	農林水産部 農林課			期間限定複数年度		ŧ				
	課長名				□【計画期間】						
	係 名	農政係	電話	0192-27-3111	年度 ~	年度					
	担当者		内線	343	全体計画欄の総投入	量を記入					
事	務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳	全体像を記述)	全体記	+画(期間限	定複数	年度の	み)		
いわて農林水産振興協議会への負担金支出及び市長会の一員として協議会事業に参画する事業。									<u>-</u>		. ,
		会・町村会・農業関係34団体				総事源	±7:∺r	和送应周士山会			
]体、水産関係19団体)で組織			+4	九方債					
		林業・水産業それぞれの団体					の他				
		とを目的に、 県民に農林水 ア、作文コンクールなど) ひ			入費斯量		- <u>07 </u> 般財源				
		ダ、「ト・又コンケールなこ。゚゚゚゚゚。 ダ)に努めている。また、各地プ			里 —	事業費				0	
	をしている。		成立にのViciamily A fie	\sim \downarrow $\bar{1}$	規職員	_ ,			-		
		担金を拠出するとともに、市長	している。		延べ業						
		への負担金を拠出のみ。	•		人件費計 (B)			0			
				<u> </u>	<u>/\:\.</u>	(/			0		
								/	/		
_1 現状把握の部(DO)											
(1)	事務事業の目	的と指標									

今年度計画(今年度に計画している主な活動)					7	1 人間後地方協議会の治動に参加したけ戦員の数			人	
前年度と同様						ゥ				
						F	対象指標	(対象の大きさを表す指	西 \	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等						名称			単位	
いわて農林水産振興協議会					_	カ	協議会構成	^艾 団体数		団体
					7	+				
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)						ク				
負担金の納入等により協議会	の運営	が健全なものと	なり、協議会事業	が円滑に実施さ		Ļ				
1る。						-		(対象における意図の達 名称	成度を表す指標)	単位
					ľ					
結果(基本事業の意図:	上位の	基本事業に	どのように貢献す	するのか)	\	サ	活動を除く		(-67) 100 1192 22 07	回
農作物が安定して高く売れる。						シ	大船渡地方	方協議会の主要活	動実施回数	回
					$ \ $	ス				
(2) 総事業費・指標等の推移										
2) 総争未員 泊保守の推り	9	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	9年	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標
』 国庫支出金		単位 千 円	11 12 (2010)	10 1 12 (20132)			~ (><==>)	1 i2 (20ist)	1 2 (F 13)	1 : (12.)
事		千 円								
		千 円 千 円								
受費 訳 その他 一般財源	典 ≟ロ ての10		38	32	<u> </u>		32	22	22	22
事業費計 (A)	一般的源			32			32	22	22	22
人 正規職員従事人数			38 8	8			8	8	8	8
件延べ業務時間		時間	50	50			50	50	50	50
費 人件費計 (B)		千円	200	200			200	200	200	200
トータルコスト(A) + (E	千円	238	232			232	222	222	222	
\T TL LK1 <u>T</u> T	ア	人	2	2	_		2	2	2	
活動指標	1	人	8	8	\vdash		8	8	8	
	ウ	田体	00	00	_		04	0.4	04	
対象指標	カキ	団体	86	86	<u> </u>		81	81	81	8
X划外f日信	7				-					
	ੈ ੈ	0	8	8	\vdash		8	8	8	
成果指標	シ		3	3	_		3	3	3	
120 V 1 I I I I	ス	П						<u> </u>	3	

事務事業ID 499 事務事業名 いわて農林水産振興協議会参画事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

・平成9年から「いわてめぐみフェア」として、農業、林業、水産業の各協議会が合同開催を行ってきた。平成14年からは、いわて農林水産業振興協議会が設立し、その事業を引き継いでいる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

・グリーンツーリズムの浸透により、農林水産業の役割などについて、更なる理解の醸成が県民に求められている。

・農業、林業、水産業とも従事者の減少、高齢化が進むとともに、海外からの輸入拡大により農水産物の価格低迷が続くなか、地場産物の普及拡大は必要不可欠であり、今後とも「いわてめぐみフェア」等、地場産物PRの場が必要な状況である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価									
	政策体系との整合性	見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映✓ 結びついている 【理由】 3							
目	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	・協議会への参画を通し、県内及び市内農業の振興に寄与する事業であり、政策体系に結びつく。							
的	公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 妥当である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※							
妥当性評価	なぜこの事業を当市が行わなければ ならないのか?税金を投入して、達 成する目的か?	・協議会は、 県、 市長会、 町村会、 農業関係団体、 林業関係団体、 水産関係団体により組織されている。 当市は市長会の一員として協議会へ参画しており、 関与は妥当。							
ІЩ	対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映							
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	・市は市長会の一員として、協議会事業に関っており、負担金の納入や事業への参加により協議会の運営を支えている。このことから、対象は協議会に限定され、意図についても、協議会の運営を支えるということに限定される。							
	成果の向上余地	□ 向上余地がある 【理由】□ 向上余地がない 【理由】□ 向上余地がない 【理由】							
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	・引き続き協議会へ参画することが成果の維持につながる。							
±	廃止・休止の成果への影響	□ 影響無 【理由】 → 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映▼ 影響有 【その内容】 →							
有効性評点	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	・協議会は、県内の農業・林業・水産業それぞれの団体が相互に連携し、一体となった取り組みを強化し、県農林水産業の発展を期すために事業展開しており、事業への参画は必要。							
価	類似事業との統廃合・連携の 可能性	□ 他に手段がある 🥄 (具体的な手段,事務事業)							
	目的を達成するには,この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との 連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?	 厂 統廃合・連携ができる [理由] → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映							
		✓ 他に手段がない 【理由】✓ 削減余地がある 【理由】○ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映							
	事業費の削減余地	▼ 削減余地がない 【理由】 → 「以筆・以番が同の品 (3枚百クード)に及映 ・事業費は負担金のみ。							
効率性評価	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)								
評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	□ 削減余地がある 【理由】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映□ 削減余地がない 【理由】 つ (3枚目シート)に反映							
Щ	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	・負担金納入事務にかかる担当職員の人件費及び協議会事業へ参加する職員の人件費のみ。							
公平	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映□ 公平・公正である 【理由】 つ							
- 性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	・受益者負担は発生しない							

- 2/3 -

事務事業ID 499 事務事業名	こ いわて農林水産振興協議会参画事業	
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度)	計画と予算への反映)(PLAN)	
(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整		、反省点) 大会への参加等にとどまらず、協議会事業の活用
■ 目的妥当性 ☑ 適切	見直し余地あり を検討したい。	
有効性 🔽 適切 🔽	見直し余地あり	
効率性 □ 適切 □ □	見直し余地あり アンファイン	
公平性	見直し余地あり	
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選	択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果
	────────────────────────────────────	左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。
事業のやり方改善 (□ 効率性改善 □ 公平性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的な内容) ・引き続き事業を継続する。		コスト削減 維持 増加
コモルルモチ末に水正ルレクシ。		向
		上 成 維
		果 括 低
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題	とその解決策又は特記事項等	
4 東郊東州の1次河區は田	(職名) 原則としてが 農林課	施策の主管課長 (氏 名)
4 事務事業の2次評価結果 (1) 1次評価結果の客観性と出来具合	- // HI IIII - // / / / / / / / / / / / / / /	
記述水準(1次評価の記述内容を読んた 記述不足でわかりにくい 一部記述不足のところがある 記述は十分なされている	ご 段階で選択)	
評価の客観性水準(2次評価を行った後 「客観性を欠いており評価が偏ってい 「一部に客観性を欠いたところがある 「客観的な評価となっている(事務事)	る(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と	理由
目的妥当性 🔽 適切 「		であり、見直し等の余地はない。
有効性 🔽 適切 「	 _ 見直し余地あり	
効率性 ☑ 適切	 _ 見直し余地あり	
公平性 🔽 適切 🔽	見直し余地あり	
		(5) 改革·改善による期待成果
廃止 休止 目的再設定 事業のやり方改善 (有効性改善 (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり、継続して事業を実施する。	■ 事業統合·連携 ▽ 現状維持	左記(4)により期待できる成果について該当欄に 「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる 場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成 維 果 持 低 下 × ×
5 最終評価結果		
(1) 行政経営推進会議等での指摘事項		

- 3/3 -